

富良野看護専門学校 広報誌

看 心

ふ ら の

創刊（第1）号

発行日 平成22年7月20日（火）

発行者 富良野看護専門学校

### 臨地実習たけなわ・・・ 早朝から夕刻まで各施設で精力的な取組

5月の連休明けから、本年度も約8か月間に及ぶ臨地実習が行われます。特に3学年は、時折の帰校日を除き、ほとんど連日の実習が続いています。この長期間の質量ともにハードな日々は極めて厳しい試練ですが、避けて通れない重要な関門です。

病院等の実習指導者から強い指導を受けて落ち込むこと、患者様の生命の安全を守る上で「ドキッ」としたり、そして心の通い合いを感じて言い表せないやりがいや満足感を得ることなどが連続する日々でしょう。こんな辛い時こそ、周囲への甘えは禁物、「運動・栄養・休養」のバランス調整を忘れずに健康の保持が第一です。

3年生は、約半年後には皆揃って健康の回復、健康な生活の支援者になるのです。本校教職員一同、厳しい中にも温かに同行支援して見守っています。実習生頑張り！

### 新入（17期）生「市内施設見学」・・・ まずは足元を知ることから

やや雨模様の心配された6/4（金）、担当の佐々木教員と学生の願いが通じて終日雨の影響を受けずに予定通り、富良野市内の基幹産業、文化・生活関連施設や観光スポット等を駆け巡りました。最初の富良野チーズ工房では、試食の各種チーズが大人気。富良野演劇工房では「宿泊セミナー」でもご指導頂いた太田工場長の説明に興味津々。「ふらっと」を経て「麓郷」で昼食。多くの学生の手づくり弁当に大いに感心。可愛い小さな弁当箱でお腹大丈夫？午後は、生涯学習センターで地域の地理や歴史、環境衛生・リサイクル両センターでは、生活直結インフラ機能の重要性を学習。

入学以来、厳しい勉学に追われる新入生は皆、忙中閑の「バス遠足の1日」を満喫。真剣にメモを取る姿と学校からの一時の解放感が印象的でした。終了時には、「レポート」の指示。やはり厳しい勉学の一環でした。（次号以降で感想文等を紹介予定）

＝ 創刊にあたって ＝

発行責任者 学校長 丸 昇

7月から当面月1回、富良野看護専門学校広報誌（学校便り）「看心 ふらの」を発刊いたします。本校学生は地元はじめ道内各地から入学し、家族や保護者の皆さんは、平素の学校の様子を余り拝見頂けないのが実情です。本広報誌は、本校関係者や市民の皆様等に学校運営や教育内容、学生の奮闘ぶり等を掲載し、一層地域にねぎし、愛され、信頼される学校にとの願いで創刊します。HPにも掲載し多くのご意見を賜りたく、今後共どうぞよろしく申し上げます。

- ・・・ SCHEDULE ・・・ 7/9～8/21の行事等(予定)
- 7/9(金)第23回旭川地区看護学校親睦体育大会(旭川市総合体育館)
  - 7/14(水)寿大学来訪(35名)～世代間交流等
  - 7/15(木)演劇鑑賞～富良野演劇工房「帰国」～1学年全員
  - 7/16(金)解剖学臨地実習(2学年)旭川医科大学
  - 7/22(木)夏季休業開始(～8/16(月)26日間)
  - 7/28(水)富良野へそ祭り(学生、教職員参加)
  - 8/21(土)第17回富良野看護専門学校 学校祭 テーマ「虹」

### 耳よりヘルシー HEALTHY トピックス

#### 「何事も最後まで」もたまには例外が大切!

目標を持って進む時、自分も周りの人も「中途半端にせず最後までしっかり」「苦しさを乗り越えた後のより大きな楽しみを」と、「我慢」を強いることがよくあります。しかし、これも程度の問題。緊張が長く続くと心身の疲労から作業能率が低下、不快感が増します。これは根気や忍耐力では解決不能な生理的現象です。こんな時は発想や気分を転換し、思い切ってリラックスし、好きなことを楽しむと疲労が軽減、その後の学習、作業等が大変快く効率的になるのはよく知られる科学的な事実です。

+++ あ・ん・て・な ANTENNA +++

#### 「特定看護師(仮称)と日本版ナースプラクティショナー(NP)」

厚生労働省「チーム医療の推進に関する検討会」は、医師の包括的指示のもと医療行為の一部を行う「特定看護師」導入を含む報告を行いました。(H22.3.19)これは、一部の先進国で導入されている、裁量権を持って医行為を行う「NP」は見送ったものの、そのはじめの一步であるとの見方が関係者に広がっています。いずれにしろ、高度なチーム医療を目指す中、看護師の地位と役割は高まります。(看護学雑誌6月号より)

#### ささやき S & T ・・・ 学生の、教員の、みんなの声

- S: 連続実習で忙しい日々を過ごしています。その中で1・2年生からのスポ交でのメッセージ本当に嬉しかった。ありがとう。毎日辛い事楽しい事みんな乗り越えて、3月を沢山の笑顔で迎えたい。(「今後の抱負や願い」3年左近理花)
- S: 記録等で大変な時に、患者さんは優しく支えて下さり、患者さんあっての実習だと感じています。患者さんのために何かできることをもっと増やしたいと思います。(「臨地実習を体験して」2年ふらのビーバー)
- S: あっという間に3ヶ月が過ぎ、入学前と違って毎日学ぶことも多く本当に内容の濃い毎日です。忙しくて疲れも溜る一方。休みたいです。(「入学後3ヶ月を経て」1年)
- S: 富良野に来て約4ヶ月。自然豊かなこの土地を心から楽しみ味わっています。ただ予想していなかったマイマイガには困ったものです。夏が来ます。(「同」1年)
- T: 学校前のラベンダーが今年も綺麗に咲き揃い夏休みが近づきました。学生達は一息つきました学習・実習に向かいます。私達も十分体を休め学生と向き合います。(北澤)